

夜明けを求めて

—詩と画でつづる独立運動の女性たち—

女性独立運動家というと、柳寛順（ユ・グアンソン）が頭に浮かびますが、他にも侵略者と戦った誇り高き女たちが、韓国には数多く存在しました。

この女性たちの痕跡を詩人李潤玉（イ・ユノク）さんが訪ね歩き、画家の李茂盛（イ・ムソン）さんが描きました。

2013年2月に韓国ソウルで開催して人気を博した、この女性独立運動家詩画展の中から20人を選んで展示します。この展示を通して日本と韓国との一層の理解につながることを願っています。



◆展示パネルには日本語訳と解説があります◆

2014年 1月29日(水)～3月30日(日)

場 所：高麗博物館

入館料：400円（中高生 200円）

記念講演会

日時：2014年3月8日（土）
14:00～16:00

講師：李潤玉（イ・ユノク）氏

演題：『女性抗日独立運動家を語る』

参加費：1000円（入館料を含む）



講師プロフィール

詩人、韓日文化オウリム研究所所長。韓国外国語大学日本語学科卒業、同大学院博士課程修了。早稲田大学客員研究員。

10月ソウルを訪問し朝鮮解放に命を捧げた女性独立運動について事前に勉強をしました。李潤玉さんの熱のこもった講義や詩画制作に協力した方々が大勢来てくださり、その熱心さに身の引き締まる思いをしました。男性中心になりがちな歴史の中にこんなに真摯に生きた女性達がいたということを正當に評価できる展示にしたいと思いました。（O.S）